

# 農問研ニュース 第25号

2025年7月16日

## ◆本号の内容

1. 学会賞について（2025年度推薦募集）
2. 若手研究者研究助成事業について（2026年度募集）
3. 2025年度春季大会が開催されました
4. 2025年度秋季大会について
5. 2026年度春季大会について
6. 2025年度常任幹事会体制について
7. 2025年度総会議事要旨
8. 会員情報更新のお願い

---

### 1. 学会賞について（2025年度推薦募集）

農業問題研究学会では2025年度も「農業問題研究学会賞」（学術賞・奨励賞）の推薦を募集しております。会員の皆様は学会賞の選考対象を推薦することができますので、学会ホームページの推薦方法をご参照の上、学会賞選考委員会事務局へ送付もしくはご持参ください。

締切は **2025年10月31日（木）必着**です。

### 2. 若手研究者研究助成事業について（2026年度募集）

2013年度総会において創設された「若手研究者研究助成事業」について、2026年度事業の募集を開始しております。若手会員の皆さんの積極的な応募をお待ちしております。また、周囲に応募条件を満たす若手会員の方がいらっしゃれば、ぜひ応募をお勧めください。

締切は **2025年10月31日（火）**、2026年4月1日時点で22歳以上35歳以下の会員が応募できます。現在、入会1年目の会員も応募できるようになっております。その他詳しい内容や必要書類については、学会ホームページをご覧ください。

なお、本事業は名誉会員の方々から納入頂いた名誉会員費を財源として運用されております。

### 3. 2025年度春季大会が開催されました

2025年3月28日（金）に、2025年度春季大会が開催されました。詳細は下記囲み記事の通りです。

【日時】 2025 年 3 月 28 日（金） 9:30～17:30

【場所】 日本大学湘南キャンパス 本館 6 階 62 番教室

【大会テーマ】 農村に関わる多様な主体と政策課題

【座長】 桑原考史（日本獣医生命科学大学） 渡部岳陽（九州大学）

【報告】

第 1 報告 「農村政策の展開とその課題」

小田切徳美（明治大学）

第 2 報告 「農村 RMO は農村(政策)の礎になりうるか」

平井太郎（弘前大学）

第 3 報告 「農村地域づくり人材の現在地—その主体と形成プロセス—」

図司直也（法政大学）

第 4 報告 「農福連携の現状と今日的な課題」

中本英里（農研機構）

【コメント】 西山未真（宇都宮大学）

澤野久美（農研機構）

#### 4. 2025 年度秋季大会について

2025 年度秋季大会を 2025 年 11 月 29 日（土）に開催いたします。

最新情報は学会ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

【日 時】 2025 年 11 月 29 日（土）

午前：個別報告 午後：特別企画

【場 所】 東京農工大学府中キャンパス

【特別企画】 「多様な農業労働力の現状と課題」

座長 友田滋夫（日本大学）

※懇親会も開催予定です。

#### 5. 2026 年度春季大会について

2026 年度春季大会を下記の通り開催いたします。

大会の詳細は、決まり次第お知らせいたします。

【日 時】 2026 年 3 月 27 日（金）

【場 所】 鳥取大学

※対面での開催を予定しています。

#### 6. 2025 年度常任幹事会の体制について

2025 年度の体制は下記の通りです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 代表幹事  | 安藤光義（東京大学）      |
| 大会運営  | 新井祥穂（東京農工大学）    |
| 大会企画  | 平林光幸（農林水産政策研究所） |
| 学会賞選考 | 渡部岳陽（九州大学）      |
| 事務局   | 澁谷朋樹（新潟産業大学）    |
| 庶務    | 三浦啓介（農研機構）      |

## 7. 2025 年度総会議事要旨

2025 年 3 月 28 日（金）に、2025 年度総会が開催されました。主要な議事の内容は以下の通りです。

### （1）報告事項

- ・若手研究者研究助成事業の対象者について報告があった。

研究課題：「安定兼業地帯におけるぐるみ型集落営農の継続要因：構成員の意識と農村社会構造に 着目して」

氏名：坂元喬人

所属：九州大学大学院博士後期課程

研究課題：「農業法人の被雇用者の属性とその地域振興への可能性に関する社会学的研究」

氏名：高橋健太郎

所属：一橋大学大学院博士後期課程

- ・2024 年度の大会開催状況、幹事会開催状況、常任幹事会開催状況等について報告があった。
- ・編集委員会の開催状況、会誌発行状況について報告があった。
- ・会員数とその増減について報告があった。

2024 年度期首：182 人      一般会員：151 人（うち減免制度利用 14 人）  
学生会員：17 人  
名誉会員：14 人

2024 年度期末：181 人      一般会員：147 人（うち減免制度利用 11 人）  
学生会員：20 人  
名誉会員：14 人

- ・会費納入状況について報告があった。

2024 年度会費納入率：71%

長期滞納者は、5 年分未納者 2 人、4 年分未納者 3 人、3 年分未納者 2 人

### （2）承認事項

- ・2024年度決算案について承認された。
- ・2025年度新体制（幹事会・編集委員会・会計監査）について承認された。

◆新幹事（18名）（カッコ内は任期、丸数字は何期目かを示す。最大3期目まで）

【北海道】

- ・小松知未（北海道大学）（2024～2025年度）②
- ・菅原優（東京農業大学）（2024～2025年度）①

【東北】

- ・小山良太（福島大学）（2025～2026年度）③
- ・中村勝則（岩手大学）（2025～2026年度）②

【関東】

- ・安藤光義（東京大学）（2024～2025年度）①
- ・小川真如（宇都宮大学）（2025～2026年度）③
- ・宮田剛志（高崎経済大学）（2025～2026年度）③
- ・平林光幸（農林水産政策研究所）（2024～2025年度）①
- ・新井祥穂（東京農工大学）（2024～2025年度）①
- ・三浦啓介（農研機構）（2025～2026年度）①
- ・石塚修敬（農林中金総合研究所）（2025～2026年度）③

【北陸・中部】

- ・澁谷朋樹（新潟産業大学）（2024～2025年度）②
- ・野中章久（三重大学）（2024～2025年度）①

【近畿】

- ・藤井至（大阪商業大学）（2024～2025年度）①
- ・平賀緑（京都橘大学）（2025～2026年度）③

【中国・四国】

- ・山藤篤（愛媛大学）（2025～2026年度）①
- ・椿真一（愛媛大学）（2024～2025年度）①

【九州・沖縄】

- ・渡部岳陽（九州大学）（2024～2025年度）②

◆新編集委員（任期：2025～2026年度）

- 長谷川啓哉（農研機構）
- 澤田守（農研機構）
- 高畑裕樹（盛岡大学）

※参考：残任期間のある編集委員

- 編集委員長 桑原考史（日本獣医生命科学大学）
- 今野聖士（名寄市立大学）
- 軍司聖詞（早稲田大学）

◆会計監査

- 曲木若葉（東京農工大学）
- 山本拓樹（農林水産省）

- ・以下の3名に名誉会員の称号を授与することが承認された。

|       |    |
|-------|----|
| 荒井 聡  | 会員 |
| 酒井 富夫 | 会員 |
| 山崎 亮一 | 会員 |

### (3) 討議事項

- ・2025年度の事業計画が承認された。
- ・投稿規程・執筆要領の改正案が承認された。
- ・名誉会員規程の新設が承認された。
- ・農業問題研究学会会則の改正案が承認された。
- ・2025年度予算案が承認された。

## 8. 会員情報更新のお願い

学会事務局では円滑な学会運営のために、会員情報の更新に取り組んでおります。つきましては、同封いたしました会費の払込取扱票の通信欄に、(1) ご氏名、(2) ご所属、(3) 会誌等の希望送付先の住所・電話番号、(4) 納入された会費の年度、(5) 生年月日をご記入していただき、お振込みいただきますようお願い申し上げます。

また、払込取扱票を用いた会費納入を行われない方に関しましては、E-mail に①ご氏名、②ご所属、③会誌等の希望送付先の住所・電話番号、④生年月日を記載して下記の連絡先までお送りいただきますようお願い申し上げます。

ご不明点ございましたら、下記連絡先までご連絡いただきますようお願いいたします。

お手数をおかけしますが、業務の質の向上のために、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【連絡先】 農業問題研究学会事務局

TEL : 03-5213-4330 FAX : 03-5213-4331

((一財) 農政調査委員会内 担当: 竹井)

E-mail : jimukyoku@noumonken.sakura.ne.jp